

第 24 回遠州広域行政推進会議 発言要旨

日 時：令和 5 年 8 月 4 日（金） 午後 4 時 00 分から午後 5 時 10 分まで

会 場：菊川市役所東館「プラザきくる」3F

出席者：浜松市長、磐田市長、掛川市長、袋井市長、湖西市長、御前崎市長、菊川市長、
牧之原市長、森町長

【議題】

・外国人に選ばれる地域になるための取組について

発言者	発言要旨
浜松市長	予想されている南海トラフ地震や、豪雨災害等の防災、感染症対策等について、外国人の方にも分け隔てなく危機管理対応ができていることが、外国人に選ばれる地域になるために必要な条件ではないか。
菊川市長	毎月初めに多言語での同報無線放送を行っている。同報無線については、各戸に一台置いている。また、外国籍の職員の採用を行い、発音のチェック等を行ってもらっている。防災情報の多言語化や、外国人のための防災に関する講座を実施しており、これらの取組により、外国人の方に寄り添った対応を行っている。
袋井市長	浜松市で仕事をしていたことがあるが、その際に浜松市及び HICE（浜松国際交流協会）の熱心な取組を見たことがある。袋井市にも FIFA（袋井国際交流協会）があるが、浜松市と同等の取組を行うことは資金や人口的な面から困難な状況。一方で海外等から移住されてきた外国人の方から「袋井市は住みやすい」と評価いただくこともある。袋井市は行政関連手続の際に通訳を付けてくれるなど、前居住地よりも対応が手厚いと言われた。外国人への支援については、現実問題として地域差がある。 また、市として行うべき事項の筆頭として、日本語教育が挙げられる。通訳機械等が発達し、スマートフォンでも翻訳機能があるが、日本語が話せない外国人が、少しでも日本語を話すことができるようになることは、地域で生活していく上で大変重要である。 国においても関係法令の施行により、日本語教育関連制度の整備、財政支援を行っているが、詳細は地方自治体に委ねている状況である。静岡県でも令和 3 年に静岡県地域日本語教育推進方針を出している。市町においてはこれらに則り、様々な支援体制を設けているが、日本語教育に対する国・県の体制・財政支援はまだまだ貧弱な状況である。 袋井市では日本語指導者の育成講座に補助金を出している。実際に指導者が育ち、外国人に対する日本語講座が実際に開かれるのはまだ先の話である。実際、日本語教育の講座の回数を増やしたが、講座の講師はボランティア

	<p>アに頼らざるを得ない状況。講師がボランティアであるため、能力等多くは求められず、ボランティアの自主性や余裕に任せて指導いただく体制から抜け出せない。そのため、報酬の発生する日本語指導者による日本語指導環境の整備が外国人の集住する私たちの地域では非常に重要である。</p> <p>外国人の集住地域は全国に偏在している。冒頭に紹介いただいた外国人集住都市会議の参加自治体が一丸となって、日本語教育に対する財政支援を国へ要望していくこと、また都道府県による支援の仕組みの構築を促すことが大変重要。様々な場所・機会において、国に改めて日本語指導に対する財政措置を継続して強く求めていく必要があると思っている。発信等に力を貸していただきたい。浜松市にもリーダーシップを発揮いただけるとありがたい。</p>
浜松市長	<p>行政だけでなく国際交流協会の果たす役割は大きい。8市1町の国際交流協会間での情報交換も必要ではないか。日本語教育については、国の方でも積極的な取組を始めているところだが、実際の支援体制が追い付いていないところがある。外国人集住都市会議等を通じ、支援の充実を求めていきたい。一緒に取り組むため、ぜひ外国人集住都市会議に加入いただきたい。</p>
牧之原市長	<p>外国人に選ばれるための取組において、一番の課題は言葉の障害である。「初めての日本語教室」というものを牧之原市では行っているが、講師は全てボランティアである。子どもも日本語教室に来るが、言葉がしゃべれない子どもを学校で受け入れることが難しい。ある程度日本語が理解できるようになってから学校に来てもらえるようにしなければならない。菊川市・掛川市・御前崎市では「ミライ」という外国人向けの託児所・教育施設があり、需要が高い。牧之原市からの利用者もいたが、続かないため、「いっぽ」という小学生を対象とした日本語や算数等を教育する施設を設けた。予算は年間1千万円。財源がないため、市単独事業である。</p> <p>多文化共生を行わなければならないことと合わせ、市内企業も外国人を雇用しなければ人材不足を賄えない。外国人から選ばれる地域にならなければ産業も続かない。これらの事情から、国や県に対し財政支援制度の確立を求める必要がある。また、外国人を雇用している事業所の支援も必要。行政だけが支援を行うことには疑問がある。外国人を多く雇用している大手企業等については、企業版ふるさと納税等も検討してほしいと考えている。企業への働きかけも必要ではないか。</p>
浜松市長	<p>外国人の子どもたちへの教育は充実させなければならない。日本語も母国語も勉強できないことになりかねない。雇用主である大手企業にも協力いただきながら、充実させていく必要があると思う。</p>
磐田市長	<p>広域で何ができるかを考えるべき。外国人の方は住む地域にこだわっていない。地域を転々とする傾向がある。遠州地域で取りこぼさないようにし</p>

	なければならぬ。これをきっかけに連携できるところは連携していきたい。日本語教育については越境でやってもよいのではないかと。浜松市の取組を各市町それぞれで実施するよりは、ブロックごとに分かれて実施する仕組等を現場レベルで検討してはどうか。
浜松市長	浜松市では外国人向けの教育施設があるが、対象者は浜松市在住者や浜松市内の事業所の就業者であると記憶している。当該施設を核とし、浜松市内の施設で実施するのか、ブランチをそれぞれに置くのか、やり方は様々あると思う。浜松市のノウハウを活かしつつ、連携して取り組む方策を探りたい。危機管理については、RPA を使用した取組を紹介したが、興味等がある場合は仕組を共有させていただければと思っている。それぞれが制度構築に労力をかける必要はない。事務方中心にすり合わせをしてもらいたい。

【報告事項】

・2023 年大河ドラマ「どうする家康」について

発言者	発言要旨
磐田市長	磐田市ではこの夏に徳川財宝伝「リアル宝探し」というイベントを行っている。大河ドラマ館でも宣伝いただけるとありがたい。
掛川市長	今回の大河ドラマが始まる 6、7 年前に「レイリ」という漫画があった。作者は岩明均さんと室井大資さん。岩明均さんは「寄生獣」や「ヒストリエ」の作者。この漫画では高天神を舞台に武田家の重臣に命を救われた「レイリ」という女性が、武田勝頼の息子・信勝の影武者として生きていくことになるという物語がある。高天神が舞台になっていることから、トークショーを高天神近くのシオーネで開催する。室井大資さん他が参加される。
湖西市市長	湖西市では新居の関所において家康関連の紹介をしているが、今回古民家を改修・リノベーションしたお店やバル、イタリアンなどインスタ映えするような店が増えているため、そのようなスポットをまち歩きするパンフレットを作成したので紹介させていただく。
菊川市長	菊川市では田んぼアートを 8 月 15 日まで見ることができる。また、高天神城を攻略するための獅子ヶ鼻砦の 30 秒の動画をご覧いただきたい。ぜひおいでいただければと思う。